

## 貸借対照表

(単位:千円)

株式会社エスケーアイ

2023年9月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>2,136,345</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>1,513,901</b>
現金及び預金	334,994	買掛金	850,870
売掛金	1,061,765	短期借入金	67,334
立替金	105	1年内返済予定の長期借入金	60,000
商品	686,026	未払金	214,405
貯蔵品	4,295	未払費用	89,584
未収入金	27,354	未払消費税等	25,776
未収法人税等	7	未払法人税等	52,520
前払費用	30,052	前受金	37
仮払金	1,231	前受収益	105
貸倒引当金	△ 9,487	預り金	56,714
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>611,123</b>	賞与引当金	88,821
(有形固定資産)	<b>256,388</b>	返金負債	7,731
建物	230,147	<b>【 固 定 負 債 】</b>	<b>204,823</b>
構築物	18,513	長期借入金	30,000
工具、器具及び備品	7,364	退職給付引当金	127,434
建設仮勘定	363	役員退職慰労引当金	6,233
(無形固定資産)	<b>15,269</b>	資産除去債務	41,155
借地権	3,081	<b>負債の部計</b>	<b>1,718,724</b>
ソフトウェア	3,203		
のれん	8,870	純資産の部	
水道施設利用権	114	科 目	金 額
(投資その他の資産)	<b>339,465</b>	<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>1,028,744</b>
差入保証金	177,379	<b>【 資 本 金 】</b>	<b>10,000</b>
長期前払費用	3,155	<b>【 資 本 剰 余 金 】</b>	<b>4,941</b>
繰延税金資産	158,880	その他資本剰余金	4,941
出資金	50	<b>[ 利 益 剰 余 金 ]</b>	<b>1,013,803</b>
		利益準備金	2,500
		(その他利益剰余金)	<b>1,011,303</b>
		繰越利益剰余金	983,424
		その他利益剰余金	27,878
		<b>純資産の部計</b>	<b>1,028,744</b>
<b>資産の部計</b>	<b>2,747,469</b>	<b>負債・純資産の部計</b>	<b>2,747,469</b>

(注)記載金額は、千円単位を切り捨てて表示しております。

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

## 1. 資産の評価基準及び評価方法

## ① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの  
 時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)  
 市場価格のない株式等  
 移動平均法による原価法

## ② デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ 時価法

## ③ 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 月次総平均法による原価法  
 ただし、2009年9月期より、正味売却価額が取得価額を下回る場合には、正味売却価額で評価し、簿価切下額は原則として売上原価として処理する。

貯蔵品 最終仕入原価法

## 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法

無形固定資産

定率法

ただし、のれんについては20年以内で均等償却

## 3. 繰延資産の処理方法

① 株式交付費 支出時に全額費用として処理

② 創立費 支出時に全額費用として処理

③ 社債発行費 支出時に全額費用として処理

## 4. 重要な引当金の計上基準

## ① 貸倒引当金

一般債権は貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不可能見込額を計上

## ② 賞与引当金

支給見込額のうち、当期に負担すべき金額を計上

## ③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上

## ④ 役員退職慰労引当金

内規に基づく期末要支給額を計上

当期純利益金額

125,721千円

以上